

青森で「レディース エネルギーセミナー」 楽しく理解し生活守ろう



エネルギーと暮らしの関わりをテーマに開かれたセミナー

東北エネルギー懇談会は3月14日、青森市のアートホテル青森で「春先取り！ レディース エネルギーセミナー」を開催。昨年に続く2回目で、県内の女性約50人が参加しました。日本エネルギー経済研究所常務理事・山下ゆかりさんは、基調講演で世界各国の事情に応じながら脱炭素を加速させる必要性や、

日本の役割などを解説。八戸市のフードコミュニケーション代表取締役・食育料理家のなぎさなおこさん、むつ市の移動メンテナンスサロン「あおとり」代表・杉山千春さんも登壇したパネルディスカッションでは、電気代を抑え地球環境に優しい暮らし方について意見交換しました。

身近な取り組みがCO2削減に

1973年の第1次石油危機から50年後の2023年、イスラエル・ガザで戦争が始まりました。エネルギーのほぼ全てを輸入する日本だけでなく世界は、エネルギーを安定して経済的な価格で確保する「エネルギー安全保障」が重要であると再認識しました。

日本には石油もガスもあまりなく、原子力や石炭、液化天然ガス(LNG)と多様なエネルギーを工夫して使ってきましたが、1970年代以降、地球温暖化や温室効果ガスの削減目標(NDC)については、進捗を点検する「グローバル・ストックテイク(GST)」が中心的なテーマでした。米国の実績は増え続け、計画をなぞるように削減が進んでしまいましたが、足元では上振れしています。

昨年5月、「GX(グリーン・トランスフォーメーション)について、進捗を点検する「グローバル・ストックテイク(GST)」が中心的なテーマでした。米国の実績は増え続け、計画をなぞるように削減が進んでしまいましたが、足元では上振れしています。

昨年5月、「GX(グリーン・トランスフォーメーション)について、進捗を点検する「グローバル・ストックテイク(GST)」が中心的なテーマでした。米国の実績は増え続け、計画をなぞるように削減が進んでしまいましたが、足元では上振れしています。



＜やました・ゆかり 筑波大学大学院で経済学修士を取得後、日本エネルギー経済研究所へ入社し、2020年から現職。原子力小委員会を含む経済産業省や環境省などの委員を歴任するほか、同年から国際エネルギー経済学会で会長を務めたほか、国際協力分野でも広く活躍している＞

基調講演「暮らしも大事、地球も大事 ～エネルギーと地球環境問題の今！～」

「脱炭素電源法」が成立しました。原子力発電所の運転期間を60年超に延長可能とする一方、30年目から10年ごとに安全性を厳しく審査することなどを盛り込み、再生可能エネルギーと原子力の両方をグリーン電源として拡大していくための画期的な法律です。実は、日本の太陽光発電の導入量は世界トップレベル。国土面積が同等の再エネ大国ドイツと比べると、面積当たりの設備容量でドイツより多く、平地では約2.5倍も入っています。そのため太陽光発電の設置は限界に近く、政府は洋上風力発電も推進しています。

運輸や産業など非発電部門はCO2を減らしにくく、使用時にCO2が出ない水素が注目されています。日本は化石燃料から水素を作り、その生産工程で出るCO2を回収して中に埋めるCCS技術で炭素ゼロとする「ブルー水素」を推進しています。CO2を埋めることに加え、化学製品や燃料などに使用するCCUSも注目されています。

こうした取り組みを行っても、どうしても排出されてしまうCO2を帳消しにするネガティブエミッション技術も重要です。中でも大気中のCO2を直接回収して中に埋めるダイレクトエアキャプチャー(DAC)技術の現実味が増えています。

地球環境を考えた身近な取り組みとして、湘南国際マラソン(神奈川)では2022年以降、マイボトルを使った給水ポイントを導

パネルディスカッション

節約以外の省エネ法は

司会・稲葉みどり 二酸化炭素(CO2)を回収して埋める技術は初めて知りました。日本の開発状況は、山下ゆかり 北海道苫小牧市で実証実験を終え、現在は海底に埋めた後の状態をモニタリングしています。CO2はコンクリートにくっつける、水素と合わせて合成燃料「e-fuel(イーフェュエル)」にする、プラスチックに加工するなど、さまざまな活用ができますが、コストを下げる工夫が必要です。

なぎさなおこ リデュース・リユース・リサイクル(3R)は聞いたことがありますが、四つ目のリムーブは知りませんでした。山下 直接的には大気中のCO2を取るのですが、CO2は空気中に0.04%しかないため結構大変で、課題がたくさんあります。ネガティブエミッションの観点では「海藻や樹木を植えること」も大切です。

杉山千春 私が住む西北には風力発電設備がたくさんありますが、風が吹かない日もあります。山下 2021年は欧州で風が吹かずに電力が不足し、天然ガスをたいて発電したことで世界中のガス価格が上がりました。電力には原子力のように24時間稼働する電源、火力のように発電量を調整できる電源、太陽光や風力など発電量が大きく変動する電力があります。

なぎさなおこ 家庭ですべてできる節電法は、環境の全てを守ることがベストに思いますが、達成できますか？

山下 私は千葉県に住んでいますが、東日本大震災の時は上下水道や道路が壊れて1カ月以上、上下水道のない不便な生活を送った家族もいて、何気ない日常のありがたさを感じました。

地球の環境を守ることは私たちの暮らしを守ることで、海水面が上がって、生活の場を奪われている人がたくさんいますが、声は世界になかなか届いていません。われわれの小さな行動が他国の人たちの生活を脅かすスピードを緩め、止めることにつながる意識を持つことは大事です。

稲葉 一言ずつ感想を。杉山 エネルギー問題は難しい言葉が並びがちですが、子どもや友達に伝えられる内容で、とても勉強になりました。

なぎさ エネルギーや環境問題に取り組む開発者の足を引っ張らず家でできることに取り組みたいです。

山下 日本はエネルギー資源がなく、従来技術では生き残れない中、新しいエネルギーの作り方・使い方を整えようとしています。孫の世代にも関わる重要な選択をする時期になっていますので、日本が抱えるエネルギーの課題について、国民や消費者としてきちんと理解し、行動することが大事です。(文中敬称略)

エコな家電 選んでみて



家庭での節電や環境への意識などを語り合う(左から)山下さん、杉山さん、なぎささん

家庭での節電や環境への意識などを語り合う(左から)山下さん、杉山さん、なぎささん

リフレッシュタイム

セミナーでは前回に続き、リラックスしながらエネルギーへの理解を深めてもらおうと、基調講演とパネルディスカッションの合間にリフレッシュタイムを設けました。むつ市の移動メンテナンスサロン「あおとり」代表の杉山千春さんが、手指のツボを押すハンドマッサージにはリラックスや脳の活



性化効果があることを説明し、肩こりや眼精疲労、心のつらさなどに効くマッサージを実演。講師の山下さんも熱心に取り組んでいました。全員にケーキとコーヒーが配られ、和やかなムードでパネルディスカッションが進みました。

クオカードプレゼント

10人に、5月10日締め切り

アクセスはこちら

東北エネルギー懇談会 (<https://www.t-enecon.com>) は、エネルギー問題に関するアンケートを5月10日まで実施しています。ご回答いただいた方の中から抽選で10人にクオカード(3千円分)をプレゼント。QRコードからアクセスし、ご回答ください!